

報道関係者 各位

令和 5 年 6 月 29 日

【照会先】

医政局 歯科保健課 歯科口腔保健推進室

室長補佐 酒寄 孝治(内線 2584)

室長補佐 新宅 正成(内線 2658)

代表電話 03(5253)1111

直通電話 03(3595)2205

「令和 4 年歯科疾患実態調査」の結果（概要）を公表します

～ ^{はちまるにいます}8020 達成者は 2 人に 1 人以上～
～ 過去 1 年間に歯科検診を受診した人は約 6 割～

厚生労働省はこのほど、「令和 4 年歯科疾患実態調査」の結果（概要版）を取りまとめましたので公表します。

この調査は、わが国の歯科保健の状況を把握し、今後の歯科保健医療対策を推進するための基礎資料を得ることを目的としています。昭和 32 年から 6 年ごとに実施していましたが、平成 24 年に策定した「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」の中間評価にあわせ、平成 28 年の調査から調査周期を 5 年に変更しました。

なお、本調査は令和 3 年に実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止し、令和 4 年に実施いたしました。

厚生労働省はこの調査結果を踏まえ、「8020 運動」を含む歯科口腔保健施策を今後も推進していきます。

<調査期間>令和 4 年 11 月～12 月

<調査対象>令和 4 年国民生活基礎調査で設定された地区（令和 2 年国勢調査の調査区から層化無作為抽出した全国 5,530 地区）から抽出した 300 地区内の世帯の満 1 歳以上の世帯員（被調査者数は 2,709 人）

<調査方法>調査対象地区内の会場で、歯科医師が調査対象者の口腔診査を実施

【調査結果のポイント】 ※詳細は、別添の概要をご覧ください。

<歯の状況・8020 達成者（80 歳で 20 本以上の歯が残っている人の割合）>

・8020 達成者（75 歳以上 85 歳未満の数値から推計）は 51.6%で、前回平成 28 年の調査結果（51.2%）と同程度（17 ページ 表 15、18 ページ 図 15）

<歯科検診の受診状況>

・過去 1 年の間に歯科検診を受診した人の割合は 58.0%で、男性より女性の方が受診率が高い傾向（32 ページ 表 26、図 27）

<歯肉の状況>

・4mm 以上の歯周ポケットを持つ人の割合は、全体では 47.9%で、高齢になるにつれ増加傾向（22 ページ 表 19、図 19）